

# おひさまの会

No.6  
平成 24 年 10 月 発行

**おひさま、すくすく成長しています！**

暑い暑い夏がようやく影を潜め、朝夕吹く風に秋の気配を感じられるようになりました。

日一日と、おひさまの出席が短くなる季節ですが、若年性認知症交流会おひさまは、新しい仲間も増え、笑顔ですくすく成長しております。

最近では、若年性認知症のご本人が十名程度参加されており、ご家族、ボランティア等一般の参加者を含めると三十名を超える方々が集う、大変にぎやかなおひさまです。

おひさまでは、ご本人が参加できるプログラム実施と同時に、別室では、介護者家族が落ち着いて話し合えるよう情報交換会を行っています。

ご家族からの近況報告に始まり、医療や介護等の関心事をテーマに情報交換が行われます。

それぞれに、話したいこと、聞きたいことが沢山あって、本当に尽きることなく会話が盛り上がり続けます。

進行するスタッフとしても、「心おきなくお話ししてほしい！ここはそのための場所なのだ！」と強く思う一方で、ご本人グループが過ごす隣の部屋の様子も気にもなり… オロオロ、オロオロ…

そこへ、「うちの奥さんどこかいなあ〜歌もいっぱい歌ってお腹もへったし、そろそろお昼にしませんかあ〜」と、少し不安そうな表情のご主人が隣の部屋からやって来ることもしばしばです。

思わぬタイムキーパーの登壇に、ご家族も思わず「ふふっ」と笑顔で席を立ち、どろどろと隣の部屋へ移動します。

昼食は、いつもご本人グループの手作りです。

たこ焼き、冷やし中華、カレーにお返し、色々なメニューにチャレンジ



H24.6.16 冷やし中華を作りました

ジっています。  
急な買い出しに軽快なフットワークで走ってくださる方や、自前の三角巾と割烹着姿で汗を拭き拭き調理に励んでくださる方、素晴らしい腕前を發揮される「たこ焼き名人」、等々、おひさまの活動をサポートしてくださる方々に、心より感謝です。

## ほのぼの・おひさま学級

さて、「若年性」とは言え、参加される方々の多くは、スタッフにとって、人生の先輩ばかりです。ですが、おひさままでの参加者の皆さまの様子を見てみると、「おひさま学級」と呼びたくなるようなほのぼのとした場面に出会うことがあります。例えるなら、教室でお友達と過ごしている子ども達の様子を覗いているような気持ちです。

初めて参加される方を「よく来られましたね、よろしくね」と迎え入れる笑顔、辛い気持ちや戸惑う気持ちを話す方の言葉に心を寄せて、何か元気が出る言葉をかけてあげたいと思いが、相手の話を聴く態度、そして、自身自身の介護生活の参考になる情報を得ようとする一生懸命な姿勢があります。

おひさまでは、毎回、会の締めくくりに一日の感想をお聞きする時間を持っています。市外から、認知症のご主人とともに参加されている方は、「最近では、段々と出かけることが大変になってきました。毎回、いつまでここへ参加できるかなあ〜」と思いが、主人と通ってきています。でも、参加すると、来月まで、また頑張ろうという気持ちになって、帰る頃には来て良かったと思ってしまう。と、心境が話されます。

H24.9.15 おひさままつりにも参加しました



## 個別支援に取組んでいます

私達にできることは限られていますが、参加者の皆さまに、「今日も来て良かった」と感じていただけるよう、「いつも心に太陽を」の気持ちで、楽しくてあたたかいおひさまでありたいと思います。

神戸市社協が実施する若年性認知症交流会も、もうじき丸二年を迎えようとしています。毎月の交流会を通じて、認知症のご本人との関わりから、若年性認知症の方が活動プログラムに参加する際のサポートのあり方や、ご本人の気持ちを表現していただくための工夫、不安な気持ちが膨らんでしまった時に場面を上手く切り替えるためのスキル等々について、スタッフ同士それぞれが、より良いサポートができるよう取組んでいます。

また、介護者情報交換等の場でお聞きする日常生活の様子から、必要に応じて、居宅介護支援事業所が実施するサービス担当者会議に同席させて頂いたり、障害サービスや権利擁護等各種制度の利用にかかる関係機関との連携や、相談窓口への同行によるサポートを行っています。

若年性認知症のご本人への直接的なケアの充実とともに、進行状況に応じたサービスの見直しや、生活環境の整備がバランス良く図られることの重要性が改めて感じられます。

今後とも、関係機関との連携を図りながら、個別支援に積極的に取組んでいきたいと考えています。

H24.8.18 介護施設の種類別と特徴等についてご家族向け講習会を行いました



## 若年性認知症情報交換会&取組報告会

まだまだ遅れていると言われる若年性認知症支援ですが、おひさまと同様にご本人・ご家族、支援者の交流を図る場づくりや、その他若年性認知症支援の取組も少しずつ広がっています。

今後の若年性認知症支援が益々活発になるよう、支援団体や関係者が集い、情報交換や各地での取組発表を行うイベントが、十一月十七日(土)に

大阪府交野市で、また、来年二月十七日(日)には奈良市で開催される予定です。

神戸市社協からも、交流会を始めとした若年性認知症支援の取組について、支援者情報交換会への参加や、フォーラムでの発表を予定しています。

情報交換会やフォーラムへの参加を通じて、他の支援団体の活動や関係者の取組を参考にして、今後の活動の発展に繋げていきたいと思います。

## 全国校区・小地域福祉活動サミット in KOBE・ひょうご

さて、前回のおひさまよりでもご案内しました「第六回全国校区・小地域福祉活動サミット in KOBE・ひょうご」が、平成二十五年一月十二日(土)ポータルアイランド内で開催されます。

基調講演では、「つながりがひらく未来へ社会の価値観に挑む」と題して、湯浅誠氏を講師にお迎えする他、シンポジウムでは、「二つの大震災と地域の未来」と題し、阪神・淡路大震災と東日本大震災の被災地において、地域住民がつながり、未来に向かって歩む取組について語り合います。

また、全国の小地域福祉活動について、地域での子育て、中高年世代の男性の活躍、障がい者の共生、災害対策、子どもの地域見守り、限界集落における取組の他、開催地・神戸における活動を紹介する「きらり☆かがやく☆神戸」等々、十六分科会を設けて、各地域活動団体が発表します。

あなたのまちの身近な地域で活かせる新しい発見がきつとあるはず…

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

☆☆☆☆「あきらめない」まちづくり ☆☆☆☆  
2013年1月12日(土)開催  
「第6回 全国校区・小地域福祉活動サミット in KOBE・ひょうご」  
地域のチカラで、明日を元気に！  
～つなげる「まち活」しませんか～  
☆☆☆☆【参加受付11月30日まで】☆☆☆☆  
↓↓開催要項は下記URLよりダウンロード可↓↓  
URL <http://www.with-kobe.or.jp/summit>  
Twitter ID @kouku\_summit\_6 #校区サミット6  
Facebook <http://www.facebook.com/summit6>  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(若年性認知症交流会おひさま お問い合わせ先)  
神戸市社会福祉協議会 福祉事業課  
電話:078(271)5316 FAX:078(271)5366  
E-mail:zaitaku@with-kobe.or.jp  
URL:http://www.with-kobe.or.jp